

## 令和5年第4回定例会行政報告

おはようございます。本日ここに、令和5年第4回定例会を招集しましたところ、議員各位にはご多用な折、ご出席いただきまして、御礼申し上げます。

只今、議長のお許しをいただきましてので、議会に先立ち、行政報告として、直近の主要な重点事業や、政策課題の進捗状況など、行政活動の一端を申し上げ、議会の皆様始め、町民の皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

今回は、本年4月からの行政報告とさせていただきます、ご議決いただいた、年度当初予算及び補正予算に基づき執行している事業等を中心に、

1. 新型コロナウイルス感染症五類化後の諸対応
2. 秦野中井インター南地区土地区画整理事業・土地改良事業への対応
3. 県並びに県議会への要望活動の概況
4. 震生湖誕生100年及び「震災記念誌」
5. 中井町結婚新生活支援事業等、移住定住に関する施策の連携
6. 中井中央公園遊びの広場複合型遊具設置工事
7. 中井町DX推進計画に基づく業務ワーキンググループの設置
8. カフェミーティング等広聴事業の取り組み

以上、8点についてご報告いたします。

3年間にわたり、社会活動を制限し、感染拡大防止等に取り組んできた、新型コロナウイルス感染症ですが、5月8日をもって五類感染症と位置づけられ、ウィズコロナが本格化しました。

五類化後は、マスクの着用等、個人の意向の尊重を基本とし、令和5年、春秋のワクチン集団接種、掴みにくくなった感染状況に関するホームページでの周知、五類化直後の竹灯籠の夕べを皮切りにした、感染症対応に留意したイベントの再開、等を行っております。

また、ロシアのウクライナ侵略に端を発した、原材料費等の価格高騰対策として、国からの電力・ガス・食料品等価格高騰に伴う緊急支援給付金等への対応も行い、再開した経済活動の下支えへとつなぎました。今般、国から新たな価格高騰対策も示されたことから、工夫を重ね、スムーズな支援を行ってまいります。

4月に事業認可がかない、6月に工事が着手された秦野中井インター周辺の2事業については、3月に移動町長室の一環として意見交換会を行い、また、着

工に先立つ5月には、組合による工事説明会が行われ、現在、地元からの声に対応しながら、1日約200台の県内公共建設発生土を受入れ、大きな混乱もなく順調に工事が進められています。

大規模営農が可能となる、今回の土地改良事業に関連し、町では県並びに県議会への要望活動において、「建築物として取り扱わないビニールハウス」の要件緩和を要望しました。これは県が建築確認を所管する区域では、大型のハウス設置が、素材の限定、軒高8mの制限等が要件となっており、新規参入する法人等が、県外に流出している状況を防ぐものです。

この要望は、県議会で早速取り上げられたほか、県でも本年3月に改定した「かながわ農業活性化指針」で、スマート農業等、新たな農業に取り組むとしており、見直しに向けた動きがすでに起こっています。

なお、今回の要望では、この他に、「デジタル専門人材の確保・育成に関する支援制度の構築」、井ノ口小学校への歩道橋の撤去を見越し、通学路の安全確保を図るため、「県道77号線(平塚松田)井ノ口交差点～陣ヶ堂交差点の歩道整備」を要望し、それぞれで進捗がございます。

「山裂けてなしける池の百年間」令和3年、国登録記念物（動物、植物及び地質鉱物関係）に登録された、震生湖が誕生100年を迎えました。

本町では、これまで秦野市と連携して、湖周辺の整備を行い、今年度、ソフト面では、地域における生涯学習の場としての利活用を本格化し、本町への周遊性を高めるハード面の整備を年度中に行います。

あわせて、その起因となった関東大震災の、町内での被災状況をまとめた「中井村震災記念誌」については、議会決議を踏まえての、レプリカ作成、それに加え、本書の歴史的な位置づけを行う解説書の執筆を専門家に依頼中です。

9月議会の補正予算でご議決いただいた、中井町結婚新生活支援事業を11月より開始しました。7月から始まった高校卒業までの小児医療費助成制度などの子育て支援策と両輪で、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる（まち・ひと・しごと創生総合戦略基本目標3）」環境が整ったこととなります。

産婦人科が隣市で開院したことも含め、子ども・子育て、移住・定住といった、一連の施策群が、相補的に連携し合い、本町の課題である少子化、人口減少に、一定の成果を発揮できるよう取り組んでまいります。

開園以来、町内外の多くの子ども達に利用されている、中井中央公園遊びの広場の遊具ですが、6月に公募型プロポーザル形式で選定を行い、3月までの工期

で大型複合遊具の設置工事を行っています。

県が委託したスマートフォンの位置情報に基づく人流調査によると、中井中央公園は、足柄エリアでは大雄山最乗寺等を上回る最大の観光資源という結果が出ています。昨年度の天然芝のサッカーコートはもとより、今年、パークゴルフ発祥40年に合わせた、スタートマットの更新等とあわせ、質実共に、中央公園の魅力と価値を高めてまいります。

9月の全員協議会でご報告した、「中井町DX推進計画」については、11月にDX推進本部会議を開催し、10の業務ワーキンググループを設置いたしました。今月中に各ワーキンググループが動き出し、具体的な検討に入っております。本町のDX及びデジタル田園都市国家構想対応は、町民の幸福を第一に、すなわち「ウェルビーイング」を入り口とし、その充実を出口としながら、取り組んでまいります。

町長が直接皆様の元に出向く、出張型地域懇談会「カフェミーティング」は、自治会や団体等、就任以来6回、また運行開始から10年が経過し、初めてとなるオンデマンドバス利用者座談会は町内7か所で、さらに今後の自助・共助・公助につながる防災モニターとの意見交換会等をそれぞれ開催し、いただいたご意見ご要望に地道に対応を続けています。

標榜する「応える町政」が、中井を少しずつ変え、町民の皆様には喜ばれる温かく活気ある町役場となっている実感がございます。

去る12月1日は、町制施行65年・中井誕生115年の節目でありました。温故知新、まちづくりに尽力された思い出深い、お一人おひとりの足跡と声を思い起こしつつ、現在活躍される、議員の皆様はじめ町民の皆様とともに、さらなる65年、さらなる115年に向け、持続可能なまちづくりを推進してまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。令和5年第4回定例会に先立つ行政報告に代えさせていただきます。

以上

令和5年12月5日  
中井町長 戸村裕司